

教員名	舘 かおる (TACHI Kaoru)
所 属	ジェンダー研究センター
学 位	文学修士 (1975 お茶の水女子大学)
職 名	教授
URL/E-mail	http://www.igs.ocha.ac.jp/~tachi@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

ジェンダー / 東アジア / 規範と制度 / Web世界 / 教育

## ◆主要業績

総数 (4) 件

- ・『満州』における植民地的近代とモダンガール』『東アジアにおける植民地的近代とモダンガール』2005年度研究報告集』(科学研究費補助金基盤研究(A)(1)研究報告集(研究代表者:舘かおる)、67-74頁 2006年3月)
- ・『自然科学分野の女性の活動』に関する研究—お茶の水女子大学における調査及び資料研究から—『第2次世界大戦後における日本の女子高等教育に関する社会史的研究』(科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書(研究代表者:米田俊彦)114-122頁 2006年3月)
- ・Naoko Oyama, Yoshifumi Masunaga, Kaoru Tachi, A Diachronic Analysis of Gender-Related Web Communities Using a HITS-Based Mining Tool, X.Zhou et al.(eds.): Frontiers of WWW Research and Development - APWeb 2006, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, pp. 355

## ◆研究内容

2005年度は、2003年に採択された3つの科学研究費とCOE「ジェンダー研究のフロンティア」で実施している研究プロジェクトを推進した。

1. 「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」の研究では、「満州」を対象にし、女性たちの「モダンティ」の認識を明らかにすることを試み、海外研究協力者の報告も含め、研究報告集をまとめた。なお、COE「ジェンダー」の「アジア認識とジェンダー」研究とも連結させ、東アジアの現況の歴史認識解明のために、「東アジアの「戦後」60年:軍事化とセクシュアリティ」と題するシンポジウムを開催し記録集を刊行した。

2. 「日本の女子高等教育における自然科学分野の女性」の史的展開を、お茶の水女子大学理学部及びジェンダー研究センターにおける調査及び資料研究から考察し、成果報告書にまとめた。

3. ジェンダー研究の現代的課題の一つに、Web世界の「ジェンダー」の解明がある。情報科学研究者との連携により、Webリンク解析の方法論の開発及び検索サイトの問題性の解明を行ない、その成果を論文にまとめた。

## ◆教育内容

(学部) 文教育学部人間社会科学科「社会教育特講I」では、女性政策と女性センターの役割、ジェンダー・フリー・バッシングについて取り上げた。

(大学院前期課程)「ジェンダー関係論」、「ジェンダー関係論演習」では、ジェンダー概念の成立過程にかかわる基本的な文献と今後のジェンダー研究の展開に重要な文献をとりあげ、受講生の報告をうけて議論した。

(大学院後期課程)「ジェンダー史論I」、「ジェンダー史論演習II」では、ジェンダー史に関わる文献の講読と共に、各自の博士論文執筆に必読の文献を講読し、博士論文の構想に関わる報告をもとに、受講者で議論した。

修士論文では「韓国の性買売防止法制定過程におけるジェンダー・ポリティクス」、「19世紀後半のアメリカにおける『女性』の構築」、博士論文では、「高群逸枝再読—一種への拒否と歴史の誘惑」などの研究指導及び主査を行った。

## ◆共同研究例

---

- ・「女性とたばこの文化誌—そのジェンダー規範と表象」（日本たばこ研究センターとの共同研究）
- ・「アジアのモダンガールと＜世界＞—グローバル資本・植民地的近代・メディア表象」（ワシントン大学「世界のモダンガール」研究会との共同研究による国際ワークショップの開催）

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

変転する世界状況の中での「東アジア」のジェンダー研究の課題を当面 2 つの方向で展開する。第 1 は、東アジア社会の地政学的文化政治的な解明の中から示唆的な見解を見出すことである。第 2 は、Web 世界の現出が人間の「知」の生成過程を変えつつあることを把握するツールを開発することである。

## ◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

---

- ・東アジアの女性学、ジェンダー研究の推進とその影響力の検討
- ・Web 世界を把握する方法の開発と考察

## ◆受験生等へのメッセージ

---

ジェンダー研究は、女性学の成立から数えても、まだ 40 年の歴史もない新しい学問研究です。でもジェンダー研究は、この世界が、20 世紀システムでは立ち行かなくなったことから生まれてきました。お茶の水女子大学は女子大ですが、他大学との単位互換制度もありますし、日本の大学で始めて設置されたジェンダー研究センターという場もあります。21 世紀の世界で生きるあなたたちが、まだ誰も知らない新しい世界を拓くために、ジェンダー研究が「力」になれば嬉しいです。